

平成29年度教育事業（指導者等養成研修事業）  
「自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成講習」 事業報告書  
事業推進係長 松元 延行

## 1 事業の概要

- (1) 趣 旨 全国体験活動指導者認定委員会自然体験活動部会が定める「自然体験活動指導者養成カリキュラム」の「概論Ⅰ（18時間）」に基づき、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて、適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者（NEALリーダー）を養成する。
- (2) 期 日 平成30年1月17日（水）～1月19日（金） 【2泊3日】
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家
- (4) 参加者 21名
- (5) 講 師 熊本大学教育学部 教授 古賀 倫嗣 氏  
WakuWaku OFFICE あそBe隊 代表 薄井良文 氏  
認定NPO法人NEXT EP 理事長（熊本再春荘病院 医師） 島津智之 氏  
国立阿蘇青少年交流の家 次長 金崎健次（主任講師）  
事業推進室長 小宮広明  
企画指導専門職 三枝ひとみ・安部信吾・山下正晃
- (6) 担当職員 松元延行（事業推進係長） 小宮広明（事業推進室長） 山本正明（事業支援室長）
- (7) 内 容 1日目：「ガイダンス1」「青少年教育における体験活動」「自然体験活動の特質」「対象者理解」  
2日目：「自然体験活動の指導」「自然体験活動の技術」「自然体験活動の安全管理1」  
3日目：「自然体験活動の安全管理2」「認定試験」「ガイダンス2」

## 2 成果と課題

### (1) 成 果

- 年度当初は9月に開催する計画であったが、参加対象者の中心となる公立青少年教育施設職員が参加しやすいように閑散期（冬季）の平日に変更したことで、多くの青少年教育関係者に参加していただくことができた。
- 参加者の所属や日々の活動実績を踏まえて講習内容を一部変更したことにより、どの参加者にとっても学びのある講習内容とすることができた（参加者の満足度100%）。閉会式後、感激のあまり涙ながらに感想を伝えてくれた参加者もいた。
- 外部講師だけに頼らず、当交流の家の企画指導専門職等も講師を務めたことで、自然体験活動指導者としての力量を高める機会となった。
- 参加者の自主性を重んじ、夜の活動時間を参加者の情報交換に充てたことにより、参加者同士の交流を深める機会にもなった。今後、各参加者がそれぞれ活動する中で、お互いに連絡を取り合い、連携していくことを期待したい。

### (2) 課 題

- 参加者の年齢層が20代から70代までと幅広く、自然体験活動の指導経験や参加動機等が様々だったので、講習内容を決定することに難航した。参加者を取りまとめた際には、各講義担当講師と情報を共有し、講習内容の調整が必要となる。
- 開催時期を冬季に変更したために、年度当初に計画していた野外調理を実施することが困難となった。次年度は、開催時期に合わせた研修内容を早期に検討しておく必要がある。
- 自然体験活動指導者認定制度（NEAL）への認知度はまだ低く、資格取得のメリットや今後の活用については、事務局や他施設と情報を共有しながら取り組んでいきたい。また、演習Ⅰの受講希望者に対する対応についても、早急な条件整備が必要である。

### 3 事業の様子



【ガイダンス 1】



【自然体験活動の特質】



【対象者理解】



【自然体験活動の技術（創作活動）】



【自然体験活動の技術（幼児期の運動プログラム）】



【自然体験活動の技術（テント設営）】



【自然体験活動の安全管理】



【記念撮影】